

今回で70回目を迎える志佐町納涼花火大会（志佐商工振興会主催）。4年ぶりに抽選会、精霊船道行き、花火打ち上げが行われ、屋台が立ち並ぶ会場は、開催を待ち望んでいたたくさんの方でにぎわいました。

午後3時30分からは松浦太鼓の小中高生が山車に乗り込み、志佐町商店街を中心に演奏しながら道行きを行い、初盆を迎える家では青年部員が「送り太鼓」を演奏して力強い音と軽快なリズムを街中に響かせました。

恒例の大抽選会が行われたあと、故人をしのび精霊船の道行きが行われ、松浦太鼓を先導に、地域住民が技術を継承し、力を合わせ制作した船4隻と、個人の船が商店街を練り歩きました。

船を見送ったあと、1750発の花火が打ち上げられ、会場に訪れた見物客は真夏の夜空を彩る大輪の花たちを眺めながら、祭りを楽しみました。

第70回 志佐町納涼花火大会

夏を彩る

1_大抽選会会場には抽選券を握りしめた多くの人が集まり、番号の発表を心待ちにしていた。当選者が分かると拍手と歓声があがり、会場全体が笑顔に包まれた
2_松浦太鼓の力強い演奏を先頭に精霊船の道行きが始まった。故人の親族や知人らが船を担ぎ松浦駅前交差点から鹿爪橋まで移動、橋の上で折り返し、船を見送った
3_道行き後、多くの人が橋周辺に集まり久しぶりの花火に見入っていた





1_ 模擬店には祭り開始から多くの人々が訪れ、爽やかな潮風が吹く夏らしい会場の中で食事を楽しんでいた 2_ 久しぶりの開催となるP-1グランプリ。ステージ前には多くの観客が集まり、出場者のパフォーマンスを楽しんだ 3_ ステージでは、市内で活動する3つの和太鼓グループが共演。鷹島の元寇太鼓は、鷹島小学校の児童が力強い演奏を披露した 4_ 祭りのフィナーレを飾る花火は漁港内の堤防から打ち上げられ、迫力ある花火に会場から多くの歓声があがった

花火大会

2023 疫神社夏祭り 今福花火大会

2023 疫神社夏祭り今福花火大会（松浦商工会議所今福支部青年部主催）が今福漁港周辺で開催されました。

消防団詰所付近にある疫神社で疫病退散の祈りが捧げられ夏祭りがスタート。

会場では主催者のほか、地域住民有志、市内企業などが模擬店を開き、花火大会終了前に完売する店があるほどの大盛況ぶりでした。

会場に設置されたステージでは、太鼓の共演や平戸神楽、よさこいなどが披露されたほか、一芸自慢が技を競う「P-1グランプリ」が4年ぶりに復活し、エントリートした出場者が、ダンスや歌などを披露し、会場を盛り上げました。

祭りの終盤には、フィナーレを飾る花火を見ようと多くの家族連れなどで会場が埋め尽くされ、頭上に咲く1200発の花火と、光に照らされきらきらと輝く水面に魅了されていました。